

新型コロナウイルス禍の中で、子育てに大変な苦勞をされている方も多いと思います。小田急電鉄様では、子育てをする人々に寄り添いたいという想いから立ち上げる「LOVE for BABY」プロジェクトの一環として、「子育て応援トレイン」を5月に運行する予定です。

今回はこの子育て応援トレインをご紹介します。

子育て応援トレイン

小田急初！小さなお子さまとより気兼ねなくご利用いただける車両がある！
5月2日から、「子育て応援トレイン」を期間限定で運行します
 ～「LOVE for BABY」プロジェクトとして、駅などでも子育て応援の雰囲気醸成～

子育て応援トレインは3000形車両1編成で実施されます。車内広告は子育て層の気持ちや、知ってほしいお出かけ環境などの情報が記載されたポスターで占められる（ジャックされる）ほか、新宿側の先頭車両は日中に「子育て見守り車両」として運行されます。

- ・運行期間 2021年5月2日（日）～30日（日）
- ・運行編成 1編成（3000形10両）



「子育て応援トレイン」に使用する
3000形車両



子育て見守り車両（イメージ）

子育て見守り車両では車内の床面や壁に特別装飾を実施します。「泣き出してしまったお子さまを温かく見守ってほしい」との想いから、窓ステッカーでも「みなさまのご理解とご協力をお願いいたします」と呼びかけています。

① 車内広告ジャック

中吊りポスターや車内窓上ポスターなどで、電車をご利用いただく子育て層の気持ちなどを掲示します。

車内広告（イメージ）

「赤ちゃん連れのお出かけはちいさな“お引っ越し”です。」のフレーズも印象的です。

② 子育て見守り車両

「子育て応援トレイン」の10号車（一番新宿側の車両）を「子育て見守り車両」として小田急線で初めて運行します（10：00～16：00）。子育て層のお客さまに、より気兼ねなく安心して小田急線をご利用いただけるよう、窓ステッカーにて「子育て中の方をあたたく見守っていただきますよう、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします」と掲示して呼びかけます。

「子育て応援トレイン」の運行予定は、当社公式WEBサイト (<https://www.odakyu.jp/oyako/>) で毎日8時までにお知らせします。また、「子育て応援トレイン」は、どなたにもご利用いただける列車であり、ご利用のお客さまとともに子育て層を応援していきます。



窓ステッカー（イメージ）

このプロジェクトは、日頃より子育て層を支える事業を行っている企業の共催・協賛も得て実現しています。

■ 共催企業

株式会社小田急エージェンシー

■ 協賛企業（順不同）

子育てを応援する以下4社の企業の協賛にて実施します

<東京都住宅供給公社（JKK 東京）>

JKK 東京の賃貸住宅は、礼金・仲介手数料・更新料が不要。さらに「子育て世帯に向けた優先申込制度」をはじめ、親族の近くの住宅を優先的に紹介する「近居制度」や「ひとり親家庭向け支援制度」など多彩なサポート施策で子育てファミリーを応援しています。

<ピジョン株式会社>

赤ちゃんのお出かけを最高に幸せな時間にしたいという想いと、それをかなえるテクノロジーがギュッとつまったベビーカーで子育てパパやママをサポート。コロナ禍のお出かけを応援する「一緒に乗り越えよう FUNRIDE プロジェクト」も実施中です。

<株式会社オグラ>

子どもの目の成長を妨げる「弱視」は、ご家庭による早期発見が大切で、さらに早期治療のために眼科医の指導のもと眼鏡をかける必要があります。こどもメガネアンファンは、お子さまの健やかな成長と、それを支えるご家族を応援しています。

<日鉄興和不動産株式会社>

先進の設備を備え、時代の変化や家族の成長に応じてアップデートする新築分譲マンション。1,000家族の自由な働き方や子育てを実現する「センドリームプロジェクト」は『LOVE for BABY』プロジェクトを応援しています。

■ 協力企業

<株式会社マインドシェア>

親子イベント「BABY&KID's FESTA」のWEBマガジン「ママノワ」を運営。ママの毎日が、もっと楽しく笑顔になる情報をお届けします。

このような子育て応援の動きが社会全体に広がることを期待したいものです。

<個別相談の実施>

次世代法に関する「行動計画の策定・届出」「認定・認証の取得」などについて、ご要望をいただければ、次世代育成支援対策推進員（特定社会保険労務士）がお伺いして個別相談にお応えいたします。お気軽にご連絡ください。

神奈川県経営者協会 TEL 045-671-7060